

コロナ対策

都が介護 障害者施設関係のPCR検査実施へ 全福祉施設や保育、学校な区独自に拡大を求める



でも新型コロナウイルス対策の柱としてPCR検査体制の抜本的強化、とりわけ、集団感染のリスクの高い医療、介護、福祉、保育、学校など従業者、利用者、出入り業者などに公費でPCR検査の定期実施を行うよう求めてきました。今回、東京都は、補正予算で介護施設、障害者施設の利用者と利用者15万人のPCR検査の実施を決めました。一歩前進で評価できます。

しかし区内の対象は、特養ホームや老健施設などで、障害者施設の対象はゼロのようです。安心して医療、介護、保育、教育が受けられるように、左上のグラフは、8月上旬までの検査数と陽性判定数の推移です。新規感染者数が減った5月に検査数も減っています。無症状感染者も含めて把握・保護する取り組みで、感染の抑え込

え込む取り組みが急がれます。検査数は、累計約3000件、陽性率は6.7%となっています。検査数自体が少ないのも気になります。これから秋冬に向けて抜本的な検査の拡大が求められます。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

779

2020年10月4日
発行 日本共産党区議会
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・話題など...横山幸次区議のホームページをご覧ください。

コロナ区内感染状況・累計373名(9・29現在) 家庭内感染が約3割、接触歴なしも約5割強

9月29日現在までの荒川区内の感染者数は373名(うち既に退院等した方は347名)です。

接触歴の有無(9月23日現在)

接触歴あり	161名	45.2%
接触歴なし	195名	54.8%
計	356名	100.0%

接触歴ありの内訳

院内感染	28名	17.4%
施設内感染	25名	15.5%
家族関連	48名	29.8%
会社関連	28名	17.4%
友人関連	27名	16.8%
接待を伴う飲食店等	5名	3.1%
計	161名	100.0%

しかし、9月に入っても区役所職員、学校、介護事業所、あらかわ遊園スポーツハウスなどで感染者が出るなど予断を許さない状況が続いています。

検査数は、累計約3000件、陽性率は6.7%となっています。検査数自体が少ないのも気になります。これから秋冬に向けて抜本的な検査の拡大が求められます。



点灯試験中の観覧車と一球さん号



9月21日は、世界アルツハイマーデーでした。いま、あらかわ遊園は、大規模なリニューアル工事中ですが、その日に呼応する「認知症予防普及啓発事業」支援のためライトアップされ、観覧車も、メリゴーランドもオレンジに輝いたようです。という話を同僚の北村議員から聞きました。写真は、観覧車の試験点灯でLED照明・フルカラーのライトアップができるようになっていきます(下)。大型遊具もリニューアルされます。その他、入り口そばの都電600

まちの話あれこれ
2022年春リニューアルオープンのお知らせ...再開が楽しみです
0形通称「一球さん号」は、横にはプラットフォームを設置、飲食・物販などの場として活用できるような形へ改修します。そばのスワンの池も水上デッキを設置します。子ども達の飛び回る日が待ち遠しいですね。
横山幸次

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。
裏面 高齢者インフルエンザ予防接種...など

定例法律相談会

10月5日(月)
11月2日(月)

横山事務所18時～20時

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ 後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



65歳以上など今年のインフルエンザ 予防接種は無料になります…

23区中12区が子どもへの助成を実施 高齢者以外への助成拡大を求めます…

日本共産党区議団は、代表質問（北村議員）で、「コロナとインフルエンザの流行が一緒になると大変。高齢者・子どもの予防接種を無料にすべき」と求めました。

区は、答弁で東京都が補正予算で組んで10月1日から実施することにした高齢者などのインフルエンザ予防接種無料化について準備をしましたが、高齢者以外について「医学的に効果が明らかでない」として助成を拒否しました。

しかしすでに12区で子どもの予防接種への助成を実施しています（左表参照）。確かに子どものインフルエンザワクチン接種の効果について議論があることは事実です。

みなさんのご意見をお寄せください

慎重に有効性の確認も行いながら、重症化を抑制できる効果も確認されている中で、子どもへの予防接種への助成は必要ではないでしょうか。

一方荒川区議会では、東京保険医協会から出された、13歳未満の幼児・児童に対するインフルエンザワクチンの費用助成を求めめる陳情が趣旨採択された経緯があります。日本小児科医学会の菅谷理事長は「小児の多くは新型コロナウイルスに感染しても軽症で済むが、インフルエンザは重症になることがある」とし接種時期を遅らせる国の通知に異を唱えました（東京新聞9月19日付）。

区	実施有無	対象	助成額
千代田区		生後6ヶ月～18歳まで（高3相当）	全額
港区		生後6ヶ月～中学まで	3000円を上限
新宿区		13歳未満	今年度に限り全額助成
文京区		生後6ヶ月～中3まで	2000円
台東区		生後6ヶ月～中3まで	2300円
品川区		1歳～中3まで	1000円
大田区		1～15歳（中3相当）	2000円
世田谷区		1歳～中3まで	1000円
渋谷区		1歳～中3まで	全額助成
中野区		生後6ヶ月～就学前	1000円
杉並区		0歳～5歳児（就学前まで）	1回最大5000円
葛飾区		生後6ヶ月～15歳（中3まで）	1000円

65才以上などインフルエンザ予防接種

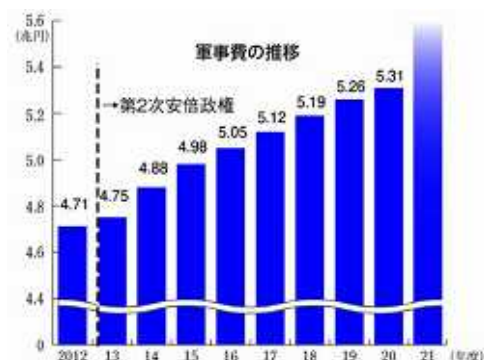
対象 2020年12月31日現在、65才以上の方（1956年＝昭和31年1月1日までに生まれた方）60才以上65歳未満の方（1956年＝昭和31年1月2日から1961年＝昭和36年1月1日までに生まれた方）で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があり、障害者手帳1級または同程度の障害がある方も対象です。

急遽決まったため、届いた封筒の中には自己負担2500円と書かれていますが、そのまま接種予診票を医療機関にお持ちいただいて大丈夫です。無料で受けられます。

実施期間 10月1日（木）から2021年1月31日（日）まで
65才・60才の誕生日を迎えてから接種予診票をお使いください。誕生日前に接種すると無料にならないので、ご注意ください。

今週のデータ 軍事費概算要求5兆5千億円… 新型コロナ対策には全く不要ですか

防衛省は、2021年度予算の軍事費概算要求について、過去最大の約5兆5千億円とする方針を固めました。軍事費（当初予算ベース）は2012年12月の第2次安倍内閣発足以降、20年度まで8年連続で増加し、6年連続で過去最大を更新。20年度は5兆3133億円を計上しています。



とはできません。教育予算を上回る額でもあり、税の使い方が間違っています。

特別障害者手当は 要介護4・5の方も対象になることがあります

特別障害者手当	
対象者	20歳以上で著しく重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態の方。 おおむね身体障害者手帳1・2級程度、愛の手帳1・2級程度で、かつそれらが重複している方。あるいは、これらと同等の重度な精神障害、疾病の方。手帳をお持ちでない方でも同程度の障害がある方。
支給制限	次のいずれかに当てはまる方は受給できません。 施設に入所している。 病院、診療所に継続して3ヶ月を超えて入院している。 受給者本人又は扶養義務者等の所得が、所得制限額以上のとき。
支給月額	月額27,350円（令和2年4月分から）

荒川区のホームページでは特別障害者手当について、左記のように説明しています。「障害」という言葉しかありませんので、該当すると思わない方も多いと思います。

しかし障害者の方だけでなく、要介護5か4で、日常生活動作のすべてに介護が必要な寝たきりの高齢者は、該当する可能性があります。対象者の下線の所に当たるのでしょう。

2018年度の受給者229名のうち51名・2019年度も227名のうち43名の方が要介護4、5で手当を受けています。

「施設に入所」が対象外となっていますが、グループホームや有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の入所者は、対象になります。

荒川区の受給者数を10年間で見ても、若干増えただけで、ほぼ横ばいです。

障害者福祉課は高齢者福祉課とも連携し、ケアマネジャーへの周知を図っているようですが、一層の徹底と周知が必要です。対象になるのではないかと思います方はご相談ください。

福祉部障害者福祉課障害サービス係03-3802-3111（内線：2693）

